

福島第二原子力発電所 1号機圧力抑制室内部への物品落下の可能性について（続報）

平成 25 年 11 月 28 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

平成 25 年 11 月 5 日、協力企業より、当所 1 号機圧力抑制室におけるサブプレッションプール水温度検出器*¹の点検で使用した LED ハンディライト*² 1 本（長さ約 40cm、重さ約 230g）がなくサブプレッションプールに落下した可能性があるとの連絡を受け、同日午前 10 時 30 分、当社として確認しました。

当該のライトは、予備として持ち込んだものであり（点検中は未使用）、作業箇所近傍のベント管*³にマグネットで取り付けていたことから、ベント管の床貫通部の隙間（約 9cm）からサブプレッションプールに落下した可能性があると考え、調査を行うこととしておりました。

（平成 25 年 11 月 6 日お知らせ済み）

11 月 18 日より、落下した可能性のある LED ハンディライト（ビニール養生あり）について、圧力抑制室内での捜索を行っておりましたが、昨日（11 月 27 日）、サブプレッションプールより回収した物品が、捜索していた LED ハンディライトの一部（フック、サイズ：5.4cm×3.6cm、重さ約 4g）であることを、同日午後 4 時 5 分に確認しました。

これにより、LED ハンディライトは圧力抑制室内のサブプレッションプールに落下したものと判断しました。

今後、落下した原因等を調査するとともに、LED ハンディライトの未回収部分の調査・回収方法を検討してまいります。

なお、落下した LED ハンディライトによる圧力抑制室内の機器等への影響はありません。

以 上

* 1 サプレッションプール水温度検出器

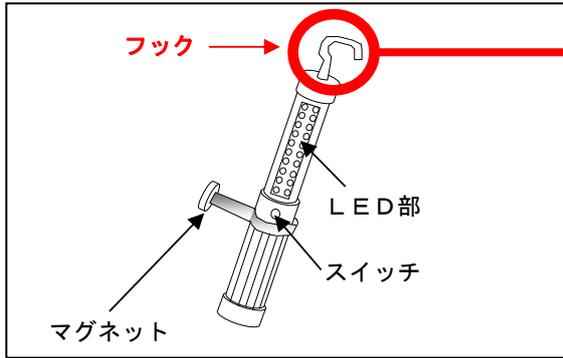
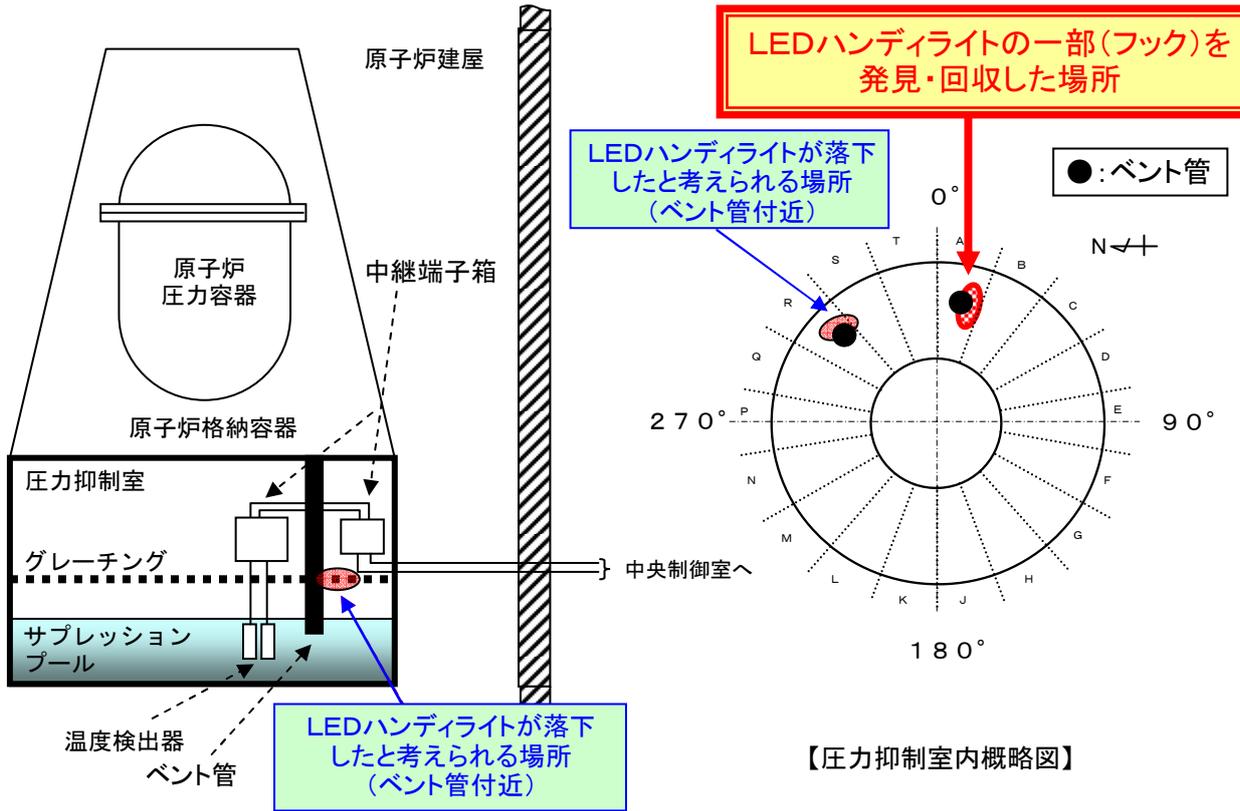
非常用炉心冷却系の水源となるサブプレッションプール水の温度を監視する計器。

* 2 LED ハンディライト

圧力抑制室内の本設照明が停電のため、仮設で準備した作業用照明。

* 3 ベント管

原子炉格納容器と圧力抑制室をつなぐ 108 本の配管で構成されている。



【落下したLEDハンディライトの形状】



【回収したLEDハンディライトのフック】



【同型のLEDハンディライトとの比較】



【圧力抑制室内の状況】

福島第二原子力発電所1号機圧力抑制室内のサブプレッションプールへ落下した物品(一部)の回収状況